



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年12月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 篤史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の業績 (2019年9月1日~2019年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	4,419	△0.5	△82	—	△86	—	△72	—
2019年8月期第1四半期	4,443	6.5	△17	—	△22	—	△58	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	△29.35	—
2019年8月期第1四半期	△23.53	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	11,769	2,446	19.8
2019年8月期	10,719	2,576	23.0

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 2,334百万円 2019年8月期 2,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2020年8月期	—				
2020年8月期(予想)		0.00	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の業績予想 (2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	11,016	△1.3	340	△23.2	329	△23.6	180	△25.6	72.75
通期	21,490	3.5	546	0.3	524	0.5	286	6.3	115.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年8月期1Q	2,532,400株	2019年8月期	2,532,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年8月期1Q	58,249株	2019年8月期	58,249株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年8月期1Q	2,474,151株	2019年8月期1Q	2,474,152株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中の通商問題や中国の景気減速懸念等により、企業業績の下振れ懸念が強まっております。とりわけ小売業界におきましては、10月の消費増税実施以降、各種軽減措置が図られてはいるものの、売上の落ち込みは大きく、人材採用難の長期化ともあわせて厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は、厳選した新規出店と旗艦店を中心とした既存店対策の強化、在庫回転率の向上、オリジナルブランドの販路開拓、時計アフターサービスの強化、EC(ネット通販)事業のさらなる拡大、物流コストの削減等を当事業年度の重点課題として取り組んでおります。

店舗展開といたしましては、9月に Le Bonheur Parfait 津田沼パルコ店・木曾川店、10月に北谷店・富山フェアレ店の合計4店舗を出店いたしました。パルコへは当社として初の出店となります。また、既存店舗の活性化として、高岡店の改装を実施いたしました。

営業施策につきましては、消費増税前後の駆け込み需要と反動減への対応に努めるとともに、対策強化店舗のレイアウト変更等の改善施策や、新店協賛セール、ブラックフライデーセール等の販促企画を実施いたしました。

オリジナルブランドにつきましては、秋冬の新作リリースにあわせたファッション誌への掲載を行うとともに、9月、11月には大手百貨店にて期間限定のポップアップストアを出店し、販路拡大とブランド知名度の向上に努めました。

ECにつきましては、買い上げ率の向上、越境EC、新販売チャネルの確立等に取り組むとともに、発送業務の外注化を進め、業務効率の改善に努めました。

商品部門別の売上の状況は以下のとおりです。

- ・宝飾品は、人気商品の各種キャンペーンや店頭演出強化に加え、秋冬新商品の販促も強化したことにより、売上高750,509千円(前年同期比5.2%増)となりました。
- ・時計は、国産ブランドが好調に推移したほか、重点ブランドを絞った販促企画を強化したものの、増税の影響による高額品の落ち込みにより、売上高1,292,534千円(同10.2%減)となりました。
- ・バッグ・小物は、海外ブランドの新規商品導入や新店オープン協賛セール等の販促企画を実施したことで、売上高2,376,048千円(同3.7%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、消費増税の影響が大きく、高額ナショナルブランド品を中心に販売が落ち込んだことで、売上高は4,419,091千円となり、前年同期売上高4,443,697千円に対して0.5%減となりました。営業損益は、上記の売上減の影響に加えて、前期第2四半期以降7店舗を新規出店したことで、営業損失82,195千円となり、前年同期営業損失17,098千円に対して65,097千円減少しました。同様に、経常損益は、経常損失86,287千円となり、前年同期経常損失22,265千円に対して64,021千円減少しました。四半期純損益は、四半期純損失72,640千円となり、前年同期四半期純損失58,240千円に対して14,400千円減少しました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、9,737,416千円となり、前事業年度末と比較して934,861千円増加しております。これは主として、現金及び預金が503,411千円減少したものの、年末年始商戦に向けた商品確保により商品が1,450,155千円増加したことが要因であります。

## (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、2,032,308千円となり、前事業年度末と比較して115,614千円増加しております。これは主として、建物が39,388千円増加、工具、器具及び備品が23,007千円増加、敷金及び保証金が28,156千円増加、投資その他の資産のその他が26,008千円増加したことが要因であります。

## (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、5,002,822千円となり、前事業年度末と比較して814,600千円増加しております。これは主として、支払手形及び買掛金が655,198千円増加したことが要因であります。

（固定負債）

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、4,320,649千円となり、前事業年度末と比較して365,686千円増加しております。これは主として、長期借入金が313,095千円増加したことが要因であります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、2,446,253千円となり、前事業年度末と比較して129,811千円減少しております。これは主として、利益剰余金が136,968千円減少したことが要因であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月10日に公表いたしました2020年8月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,580,592	2,077,180
売掛金	1,346,135	1,193,199
商品	4,704,574	6,154,729
貯蔵品	110,073	116,897
その他	61,179	195,408
流動資産合計	8,802,554	9,737,416
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	762,015	801,403
構築物(純額)	11	10
工具、器具及び備品(純額)	281,654	304,662
建設仮勘定	555	—
有形固定資産合計	1,044,237	1,106,077
無形固定資産		
ソフトウェア	18,028	17,638
無形固定資産合計	18,028	17,638
投資その他の資産		
敷金及び保証金	623,566	651,722
その他	230,861	256,870
投資その他の資産合計	854,428	908,592
固定資産合計	1,916,694	2,032,308
資産合計	10,719,248	11,769,724

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	695,928	1,351,126
電子記録債務	612,345	851,353
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,726,203	1,794,479
未払法人税等	135,474	16,936
賞与引当金	88,700	131,868
ポイント引当金	5,130	4,698
資産除去債務	3,917	3,923
その他	620,521	548,437
流動負債合計	4,188,221	5,002,822
固定負債		
長期借入金	3,359,654	3,672,749
資産除去債務	209,341	219,360
長期未払金	385,967	428,539
固定負債合計	3,954,962	4,320,649
負債合計	8,143,184	9,323,471
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,893,912	1,756,943
自己株式	△55,776	△55,776
株主資本合計	2,476,280	2,339,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,368	△4,590
評価・換算差額等合計	△6,368	△4,590
新株予約権	106,152	111,531
純資産合計	2,576,064	2,446,253
負債純資産合計	10,719,248	11,769,724

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	4,443,697	4,419,091
売上原価	3,426,493	3,388,908
売上総利益	1,017,203	1,030,182
販売費及び一般管理費	1,034,302	1,112,378
営業損失(△)	△17,098	△82,195
営業外収益		
受取利息	34	4
受取配当金	504	580
受取保険金	185	823
その他	733	1,020
営業外収益合計	1,459	2,429
営業外費用		
支払利息	6,466	6,474
その他	160	46
営業外費用合計	6,626	6,521
経常損失(△)	△22,265	△86,287
特別損失		
固定資産廃棄損	107	—
店舗盗難損失	54,570	—
特別損失合計	54,677	—
税引前四半期純損失(△)	△76,943	△86,287
法人税、住民税及び事業税	5,228	6,289
法人税等調整額	△23,930	△19,936
法人税等合計	△18,702	△13,646
四半期純損失(△)	△58,240	△72,640



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。